

◆ 会場案内図 ◆



◆ 千葉大学までの交通 ◆

- JR総武線「西千葉駅」下車、徒歩約10分
※西千葉駅には快速電車は停車しませんのでご注意ください。
- 京成千葉線「みどり台駅」下車、徒歩約10分



千葉大学 法経学部

URL <http://www.le.chiba-u.ac.jp/>



Chiba University

フェスタ
国立大学2012 JANU

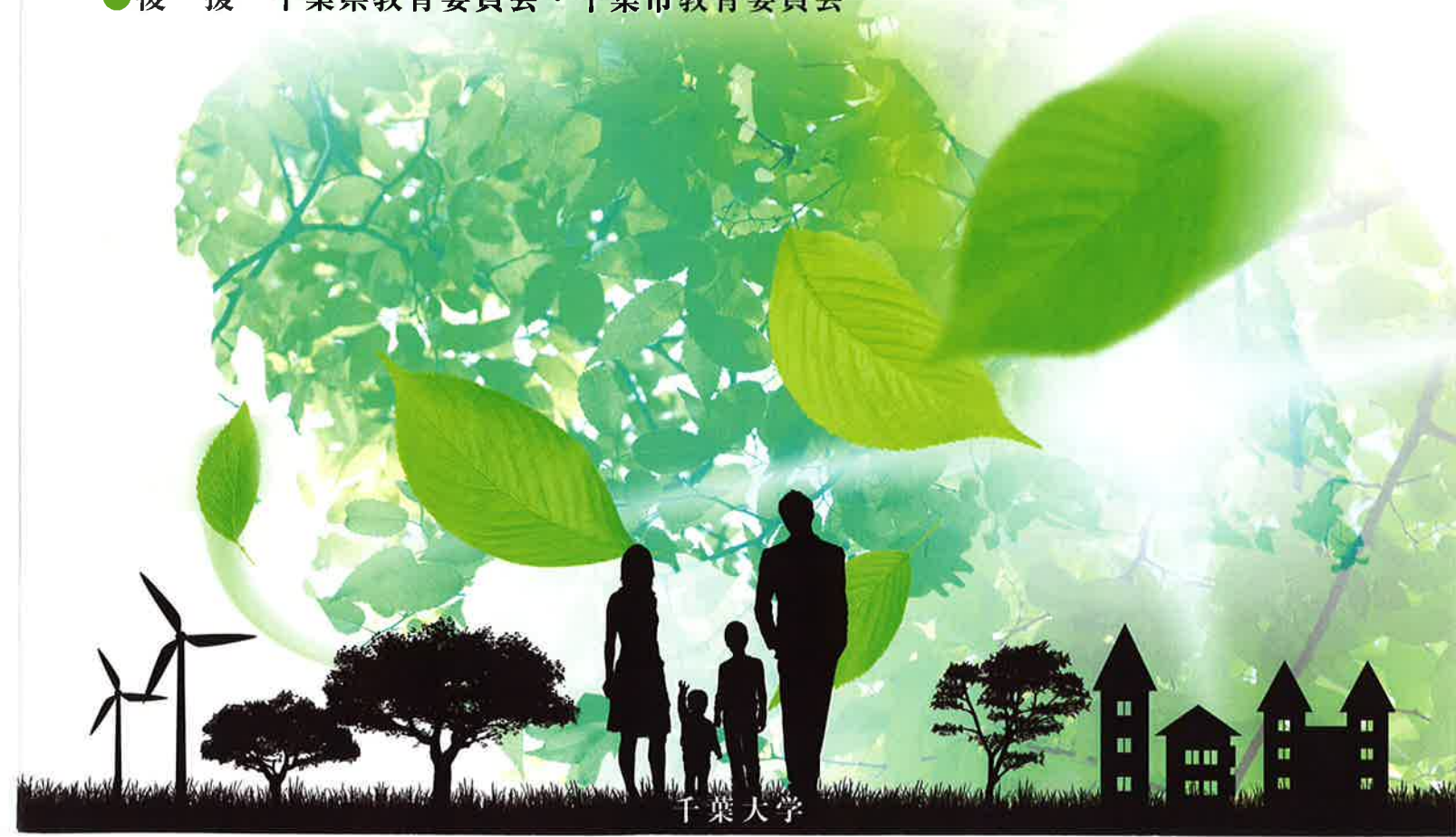
平成24年度
千葉大学法経学部公開講座

震災後の 社会ビジョンを考える

開催日時 平成 24年 10月13日(土)・10月20日(土) 13時～16時

会場 千葉大学社会文化科学系総合研究棟
マルチメディア会議室(2階)

- 主催 千葉大学法経学部
- 後援 千葉県教育委員会・千葉市教育委員会



震災後の 社会ビジョンを考える

2011年3月11日に発生した東日本大震災によって引き起こされた大津波は、東日本沿岸部を襲い、大きな被害をもたらしました。また福島第一原発では、原子炉のメルトダウンを引き起こし、広範な地域の人々の生活基盤を奪いました。震災と原発事故から1年以上を経てもなお、復興はいまだ途上であり、原発周辺地域からの避難生活は長引いています。

この状況にあって、大学の重要な役割の一つは、その持てる英知を結集して、新たな時代のための見取り図を示すことにあります。目前の復興という課題と並んで、時代の転換期にふさわしい、長期的なビジョンが求められています。法経学部は、法学科、経済学科、総合政策学科の3つの学科において、(1) 社会システムの観察・分析・評価、(2) 政策、制度、理論の分析・立案・構築、(3) 社会経済等の様々な問題に対する有効な処方箋の提供、(4) その他の社会諸科学のテーマ群について、教育及び研究を行ってきました。震災後の社会ビジョンを示すという重要な課題のまえに、これまで法経学部が取り組んできた教育・研究の持てる力が試されています。

この講座の一日目は、「財政赤字・少子高齢化の日本に未来はあるのか」と題して、主として経済的な側面から、日本社会のこれからのありかたを検討します。二日目は、「震災・原発事故後の環境・エネルギー政策を構想する」と題して、今後の日本で求められる、新たなエネルギー政策の方向を検討します。現在の日本が直面する課題の社会科学的解決に向けた取り組みを一般市民のみなさんに紹介し、社会科学の役割の再認識につながることを期待します。

千葉大学法経学部長 小賀野晶一

法経学部地域貢献・公開講座委員長 水島 治郎

担当講師プロフィール

 松田 忠三
(まつだ・ちゅうぞう)



1946年 東京都生まれ。
1969年 一橋大学経済学部卒業。
同大学院修士課程修了、
博士課程単位取得後、
1974年より千葉大学助手。
1981年より千葉大学法経学部助教授。
1984年—1985年ボン大学客員研究員。
1992年より千葉大学法経学部教授。
2012年 千葉大学名誉教授 専攻は公共経済学及び財政学。

主な論文に「最適商品課税における非課税財をめぐる問題について」(千葉大学経済研究 25巻2号)、「保険市場の厚生分析」(東京国際大学論叢経済学部編 39号)、「所得税課税単位の問題」(千葉大学経済研究 14巻3号)。

 松浦 司
(まつうら・つかさ)



1977年 福井県生まれ。
2001年 早稲田大学
政治経済学部卒業。
2008年 京都大学経済学研究科
博士課程学修認定退学
博士(経済学)。
2009年より11年まで中央大学経済学部助教。
2012年より中央大学経済学部准教授。現在に至る。
専攻は人口学、労働経済学及び応用計量経済学。

主な著書に『学歴格差の経済学』(共著)(勁草書房)。
主な論文に「相対所得が出産に与える影響」『経済分析』(内閣府)、「子どもと生活満足度」『日本経済研究』等。

 倉阪 秀史
(くらさか・ひでふみ)



1964年 三重県生まれ。
1987年 東京大学経済学部卒業。
1987年から98年まで環境庁勤務。
1998年より千葉大学法経学部助教授。
2008年より千葉大学法経学部教授。
2010年より千葉大学大学院人文社会科学部研究科教授。
専攻は環境政策論及び環境経済論。

主な著書に『政策・合意形成入門』(勁草書房)、『環境政策論』(信山社)、『環境と経済を再考する』(ナカニシヤ出版)、『エコロジカルな経済学』(ちくま新書)、『環境—持続可能な経済社会システム』(編著、勁草書房)、『地域主導のエネルギー革命』(編著、本の泉社)等。

 鮎川 ゆりか
(あゆかわ・ゆりか)



静岡県生まれ、東京育ち。
1971年 上智大学外国語学部卒業。
民間会社勤務を経て、1988年から95年まで
現NPO法人原子力資料情報室勤務。
1995年から96年 ハーバード・ケネディ大学院(公共政策修士)
1997年から2008年 世界自然保護基金(WWF)主に気候変動
を担当。
2010年より千葉商科大学政策情報学部教授。
専攻は気候変動及びエネルギー、持続可能性。

主な著書に『e-コンパクトシティが地球を救う』(日本評論社)、
共著に、『脱炭素社会と排出量取引』(日本評論社)、
『政策情報学の視座』(日経事業出版センター)等。他に論文多数。

日程・講義題目及び担当講師

月 日	時 間	講 義 題 目 及 び 担 当 講 師			
10/13 (土)	12:15~12:50	(受 付)			
	13:00~13:10	(開講式)		法経学部長	小賀野晶一
	13:10~16:00	共通論題 財政赤字・少子高齢化の日本に 未来はあるのか	(司会) 担当講師	千葉大学法経学部准教授 千葉大学法経学部名誉教授・ グランドフェロー 中央大学経済学部准教授	齋藤 裕美 松田 忠三 松浦 司
10/20 (土)	13:00~16:00	共通論題 震災・原発事故後の環境・ エネルギー政策を構想する	(司会) 担当講師	千葉大学法経学部教授 千葉大学大学院 人文社会科学部研究科教授 千葉商科大学 政策情報学部教授	水島 治郎 倉阪 秀史 鮎川 ゆりか
	16:00~	(閉講式)		法経学部地域貢献・ 公開講座委員長	水島 治郎

会 場 千葉大学社会文化科学系総合研究棟 マルチメディア会議室【会場案内図参照】

募 集 定 員 80名

受 付 期 間 平成24年9月3日(月)~9月28日(金)

受 講 料 3,000円

受講申込方法 「郵便はがき」または「FAX」、「E-mail」に住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、下記申込送付先までお申し込みください。

<申込送付先> 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号 千葉大学法経学部学務グループ
電話 043 (290) 2352 FAX 043 (290) 2356 E-mail bhgakumu@office.chiba-u.jp

受講者の決定 先着順に受講者を決定します。受講決定の可否については、9/24以降封書にてお申し込みのご住所へお知らせいたします。
その際、受講料等の納付方法についても併せてお知らせいたします。

そ の 他 自動車での入構はご遠慮ください。